

沼田市文化協会だより

発行責任者
沼田市文化協会
会長 金井竹徳
事務局
沼田市下之町888
沼田市教育委員会
生涯学習課内
(23) 2 1 1 1

題字 池田翠雲



沼田市の誇り高き文化の根源を考へる時、その要因は城下町の成り立ちにある。特に江戸中期以降に当地を治めた土岐氏の家柄の影響が大きい。土岐氏は美濃源氏を出生とし、寛保二年土岐頼稔(よりとし)が駿府田中城より沼田へ移封以来、十二代までの百二十六年間沼田を治世する。土岐氏は穩健派で鷹の絵を得意とする藩主がいたり、「土岐の一算」と呼ばれる算術に長けた家臣を育てたりなど、天災や飢饉を除けば比較的平穩な時代を過ごした。村々が取り囲むすり鉢状の中心にある沼田の周辺には多くの人々が集まり、様々な文化が生まれ育ち、花開いたのである。

文化との対峙、真摯に

沼田市文化協会会長 金井竹徳

かつて、郷土誌「沼田万華鏡」で伝統を守る職人をシリーズで紹介したことがある。鍛冶・提灯・下駄・箆・畳・味噌饅頭や正月の飾り花など、武士や町人、農民が必要とした様々な伝統の工芸品や生活用品に携わる人々。これらも城下町が育んだ技であり文化である。しかし、時代の変化により多くの技や職人が消えている。口惜しい限りである。

沼田市文化協会の今年度は、力強さを具体的に感じた一年であったように思える。実績ある会の休会など、一部高齢化による残念な動きもあつたが、周年行事などが目白押しであつた。茶道会五十周年、郷土の芸能祭も五十回を迎えた。

また、文化庁から昨年より提言された、学校と地域との連携・協働の推進も図られた。利根沼田美術協会の夏の絵画教室には百人以上の参加者が見られた。

第七十一回沼田市文化祭は、晴天に恵まれ、力強く文化の好発信ができた。文化を背負う熱意や技を伝える真摯な姿が印象的であつた。今年より、子ども教室の伝統芸能発表会が、文化祭に統合され四団体の子ども達も熱演した。伸び伸びとした、さわやかな頑張りは文化祭に新鮮なエネルギーをもたらしてくれた。この異世代とのコラボは、今後の文化活動への指針となつた。

おめでとうございます

令和六年度 群馬県文化賞 (文化功労賞)



ほり え ぐち ゆり こ 氏
堀江百合子氏
利根沼田華道会



昭和四十二年池坊生花教授を家元より伝授され、昭和六十年に利根沼田華道会に入会して以来三十九年間、文化活動に携わってきている。
池坊中央研究所に通って研鑽

を積んだり、京都や東京で開催される池坊華展をはじめ県や市など数々の華展に出展したりと、池坊の華風を継承し、技術の向上に努めている。

また、指導者として弟子の育成にも努め、会員相互の融和を図りながら、会の発展と文化の振興に貢献している。

長年にわたり、地域の生花ボランティアや薄根小学校のワクワクスクールでの体験教室、デイスーパー施設等の体験教室などを実施し、社会貢献にも意欲的に取り組んでいる。



令和二年度から沼田市文化協会の監査としても、沼田市の文化推進に尽力し向上に寄与している。

令和六年度 沼田市社会教育功労賞



あけ た めい こ 氏
明田あい子氏
大洞流沼田吟詠会

沼田吟詠会に平成十五年に入会し、特に利根沼田の風光明媚な詩歌及び歴史を吟じた岸大洞先生について、一層の研究を行った。現在は、群馬県吟詠詩舞道総連盟、沼田市文化協会、沼田市邦楽協会、利根沼田郷土芸能祭等の発表会で活躍している。会員からも敬愛され、会の発展及び地域に貢献している功績は誠に多大である。



にしむら ます み 氏
西村益美氏
利根沼田美術協会

「絵画を楽しむ会」代表として地域の文化振興に貢献している。「絵画を楽しむ会展」で

は、会場や日程等の調整等、研究発表のし易い手立てを講じている。「改訂きり絵沼田かるた」を題材に、新しく広い視野で画面を描いた絵札四十点を飾り、自作の「解説付き画集」を手がけた。積極的に自己研鑽にも取り組み、中央展で上位賞受賞等している。



ほり え ぐち ゆり こ 氏
堀江百合子氏
利根沼田華道会

昭和六十年利根沼田華道会入会以来、三十九年間、池坊の華風を継承し、技術の向上と弟子の育成に努める。池坊連合会華展、華道会県展、利根沼田華展、家元華展等文化活動や学校支援生花ボランティア等にも積極的に参加している。
令和二年度から沼田市文化協会監査として、地域の社会教育活動に多大な貢献をしている。



この冊子は文化協会だより「ききょう」のダイジェスト版です。文化協会の詳しい活動内容については生涯学習課市民文化推進係にお問い合わせください。(☎23-2111)



令和六年度 沼田市文化協会文化功労賞



いん さわたて き 入 澤 建 喜 氏
沼田祇園囃子保存会連合会

昭和四十年以前から、材木町で、地元の人々にお囃子の指導を継続的に実施してきた。

連合会設立からお囃子の普及に関わり、現在も連合会役員として、お祭りやお囃子演奏に関わる事業並びに後継者育成事業等の指導を積極的に努めている。文化祭等の伝統芸能発表にも参加し、地域の文化活動に多大に貢献している。



くぼ くみ 久 保 久 美 氏
沼田市音楽協会

平成十三年から、クレッシェンド、コルチグきに入団し、さらに、沼田市音楽協会の書記、副会長として長く務め活躍している。行事で中心的な役割を果たし、多大な力を発揮している。また、音楽教室を主宰して後進の指導に当たり、サークル活動でも豊かな技量を発揮して、地域音楽文化の発展のために尽くしている。



けん じょう じゆん いち 見 城 順 一 氏
沼田市邦楽協会

平成十四年に心彰流猿ヶ京吟詠会に入会し、心彰流総本部長事、上席師範を経て、令和四年には県吟剣詩舞連盟連盟理事、五年に日本吟剣詩舞振興会参与も務める。平成二十六年から、沼田市邦楽協会常任理事として、人望厚く、諸行事の中心となり、会の運営・発展に多大な貢献をしている。地域の文化振興に献身的に取り組み活躍している。



さか ぐち ふみ こ 坂 口 文 子 氏
白沢支部白花会

昭和三十六年に利根沼田華道会（池ノ坊）入会以来、中学校や地域団体等での生花の指導を続けてきた。平成十七年からは沼田市文化協会に白花会として入会。毎年白沢町文化祭に参加し、会員の育成を続けながら、

平成二十四年～二十七年には沼田市文化協会白沢支部副支部長を務め、地域の文化振興に大きく貢献してきた。



つ の だ ち へい こ 子 氏
沼田書道協会

平成十一年沼田書道協会に入会以来、積極的に事業に臨み、二十六年から理事、三十年から副会長として会の中心的役割を担い、本会発展に尽力している。県の書写指導支援事業にも携わり、長年、小中学校等で書写指導を行い、書道文化の振興発展に貢献している。また、中央展等に積極的に参加し、書道技術の研鑽にも努めている。



でん だ ゆう こ 傳 田 有 子 氏
沼田香道会

平成十二年に香道沼田門院会に入会し、例年、市文化祭等に参加、さらには東京や県内で開

催の香道大会にも参加している。伝統文化の伝承に留まらず、日本文化への理解を深め、べく積極的に香道の普及に努めてきた。会員相互の和の模範となり、新しい世代を育てることにも尽力し、地域の文化振興に多大に貢献している。



ほし の ミツル 氏
利根支部美津留会

昭和六十年利根町文化協会設立当初は水尾流の会員として、入会。平成六年からは美津留会として、地域に舞踊を広めるために指導者として活躍し、地域文化の発展に尽力してきた。平成十七年からは支部理事を務め、特に、利根町芸能祭では、実行委員会役員として運営に携わり、盛り上げてきた功績は絶大なものである。



第七十一回 沼田市文化祭

沼田市文化祭は十一月十五日～十七日を中心に二十九団体が参加して開催されました。

先行して十月二十七日から「利根沼田菊花大会」。十一月二日に「市民音楽祭」。三日に「邦楽舞踊発表会」が行われました。

十五日には、ウエルプラザ（沼田市保健福祉センター）にて、オープニングセレモニーも行われ、上州沼田天狗の里面友会の方々の楽しい踊りで和やかに始まりました。

展示部門主会場のウエルプラザ（沼田市保健福祉センター）



オープニングセレモニーアトラクション「上州沼田天狗の里面友会」

しでは、盆栽、華道、短歌、川柳、写真、絵手紙、玉原の自然、書道、美術の展示、さらに茶席、香席、読み聞かせ、将棋



邦楽舞踊発表会



沼田市民音楽祭

体験も行われました。舞台部門では、利根沼田文化会館で、十六、十七日に、歌謡、吟詠、多彩な舞踊等十一団体のステージ発表がありました。今年度から伝統芸能発表会が同時開催され、祇園囃子、日本舞踊、和太鼓、人形芝居の若い担い手も加わり、賑わい



ウエルプラザ



ウエルプラザ

ました。他に、十六日に歴史散歩、二十四日に紙芝居も行われました。さらに、市制七十周年記念として山車人形の展示や抽選会のイベントもあり好評でした。日々研鑽に努めている成果が十分に発揮され、実り多い文化祭となりました。



利根沼田文化会館大ホール



沼田公園



ウエルプラザ



山車人形展示



◆白沢支部

令和四年度より再開できました支部の行事、文化祭については新たに「ニットの会」を迎え開催できました。

白沢小・中学校生徒の書道・美術作品や保育園児の作品等継続した参加をいただきました。子ども達の参加は大勢の観覧者を呼ぶ効果が大です。「ハーブをたのしむ会」や「ニットの

会」の女性達の賑やかな声と、地域おこし団体の「白沢みらい会」の皆さんの協力もありました。

「ふるさと文学賞」の継続も本年二十一回を迎えました。沼田・利根の各小・中学校の協力をいただき十一月に審査を終え二月の表彰式を待つばかりです。尚この行事に永く協力してきた団体である「しらさわ望郷クラブ」が支部に入会し、継続した活動を行っている事も報告します。

白沢町文化祭



ふるさと文学賞



白沢町芸能祭



白沢町文化功労賞



第四十二

回を迎える白沢町芸能祭と昨年創設した「白沢町文化功労賞」の表彰式を併せて三月に開催する予定です。研修旅行については、日程の都合でやむなく中止としましたが、今後は時期を調整した上で開催したいと考えています。

◆利根支部

利根支部では、「全国ふきわれ俳句大会」「利根町文化祭」「利根町芸能祭」を支部の三大事業として実施しています。

沼田市の魅力を発信し、俳句文化の振興を図る「全国ふきわれ俳句大会」は、今年で三十四回目となり、一般の部が五百十九句、小学生・中学生の部が六千五百十五句、合わせて七千三十四句の応募がありました。

特選・特別賞の受賞者は左記のとおりでした。

特選

吹割の

滝見し夜の

長湯かな

市川 稲舟



特別賞 (沼田市文化協会賞)

滝風や

切幣高く

高く舞ふ

市川とく江

「利根町文化祭」は、日頃の成果を発表する場所として、文化協会利根支部加盟団体、児童・生徒の作品等、多くの方の作品が展示されました。また、三日は体験教室を行いました。

新築の利根地区コミュニティセンターで開催することができ、盛況の「文化祭」となりました。

利根町文化祭



「利根町芸能祭」は、開催について検討中です。



沼田市文化協会加盟団体一覧

部会名	団体名	代表者名
美術部会	利根沼田美術協会	長田 清
書道部会	沼田書道協会	小池 龍実
音楽部会	沼田市音楽協会	山田 英子
	沼田カラオケ連合会	小林 定雄
	ふるさとの心をうたう会	高倉 榮
舞踊部会	沼田つくしの会	山田 和子
	上州沼田天狗の里面友会	田島 護
	繭の絆	星野千寿子
古典部会	谷間のゆりフラシスターズ	石原 久美
	沼田祇園囃子保存会連合会	高羽 伸夫
邦楽部会	沼須人形芝居あけぼの座	金井 竹徳
	沼田市邦楽協会	岡嶋 稜子
茶道部会	大洞流沼田吟詠会	小林 映子
	沼田茶道会	桑原 久男
華道部会	利根沼田華道会	牧野アサ子
	利根沼田短歌会	田島智恵子
盆裁部会	利根沼田川柳愛好会	大竹 満
	沼田盆栽愛好会	石井 光治
	利根沼田菊花会	生方 忠一
将棋部会	沼田盆苦楽会	高山 良雄
	日本将棋連盟沼田支部	岡田 好正
香道部会	沼田香道会	長澤久美子
手工芸部会	絵手紙クラブ(夢の会)	霜垣ユミ子
写真部会	沼田写真文化連盟	原 明弘
読み聞かせ部会	沼田読み聞かせの会	田村 恵子
歴史部会	利根沼田歴史散歩の会	金井 竹徳

白 沢 支 部	池田 進一
利 根 支 部	室井 菊治

監 顧 書 書 事 事 副 会
 " " " 記 務 務 局 局 " " " " 会
 査 問 記 長 長 長 長

堀小長櫛桜石武加伊桑石伊池岡金
 江林田瀨井北井藤藤原原藤田嶋井
 百 由 由
 合定 光紀玲良水重久久重進稜竹
 子雄清彦子子和絵雄男美雄一子徳

(兼務)

書 書 顧 委 委
 " 記 " " " " " " " " 員 員
 記 長 問 員 長

桜石武金小星高加桑石池岡伊
 井北井井林野井藤藤原原田嶋藤
 由 千
 紀玲良竹康寿信水久久進稜重
 子子和徳子子彦絵男美一子雄

令和6年度本部役員

編集委員

編集後記

今年も沢山の皆さんの協力により「ききよう」の発刊ができて心より感謝申し上げます。ようやくコロナ禍から抜けだして、文化活動も軌道に乗りかけています。市の文化祭もコロナ禍前の状況に近くなってきました。最近の文化祭の最大の課題は会場の問題です。中央公民館が廃止され、文化会館と保健福祉センターを主会場とする事になりましたが、市街地から遠いこと、展示と舞台発表会場の距離も遠いこと、こちらの会場を使っても、一方所では展示と舞台発表が難しいことなどで、非常に会場設置に苦労しています。今年になって、沼田女子高校と沼田高校が統合され、女子

校の跡地を市が取得して多目的に活用し、文化の拠点も整備される方向であると伺いました。沼田市は県下に誇る文化度の高さが地域の特性と言われています。その文化度が低迷することのないように、文化の拠点となる施設の整備を文化協会関係者は強く希望しています。地方の小都市であっても、ほこりを持って生活できるような都市でありたいと思います。沼田まつりだけでなく、人形芝居や邦楽の取組のように、子どもたちが多くの文化に接して、沼田に住み続けたり、大都市から帰ってくるような取組を文化協会の皆さんと一緒にしていければと思います。

(編集委員長 伊藤 重雄)